修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務である。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

全修協創立20周年記念事業

修学旅行

論文と作文の審査

第一次選考開始へ

優秀な作品が目白押し

（財）全国修学旅行研究協会（山本種一理事長）の創立二十周年記念事業のひとつ、修学旅行の論文と作文募集は、すでに予備審査を終え、いよいよ十月二十八日午後二時から東京・千代田区の虎ノ門共済会館に全審査委員が集って第一回審査会をひらくことになった。

文部省、都道府県教育長協議会後援で全修協都道府県支部と各修旅委などを経て寄せられたもののなかから予備審査で選ばれた論文三千六点、作文小学校三百七点、中学校三百六十八点、高校六十三点に対して審査が行われる。予備審査では優劣を決めがたく、選考に相当な苦心が払われたようである。

教諭による論文は、現在の修学旅行のありかたに鋭いメスを加えるとともに、いかにして学習効果を高めるかについて実際の体験から得た建設的意見が多く、また、児童生徒の作文では新鮮な感覚でみごとに旅の姿をとらえたもの、あるいは国民の宝である文化財に対して深い関心を寄せているものなど、美しく正確な文章で綴られているのが目立っているという。

続いて行われる最終の審査会では論文一席一点、二席二点、三席三点、佳作二十点、また作文は小中高校とも各一席一点、二席三点、三席五点、佳作小中各五十点、高校二十五点を決定し、それぞれ賞状、記念品などがおくられる。審査委員の顔ぶれは次の通り。（順不同・敬称略）

堀久（文部省教科調査官）八木橋雄次郎（全国作文の会会長・日本国語教育学会理事長）青山良道（東京都中野区教育委員会教育委員長・全修協理事・東京都支部長）神藤豊（元東京都立桜町高校教頭・全国高校教頭会事務局長）安川武男（津市立西橋内中学校長）伊沢喜一（宇都宮市立陽東中学校教諭）三井知夫（東京都日野市立第五小学校長）岩崎武夫（元全国特別活動研究会会長）山本種一（財団法人・全国修学旅行研究協会理事長）

論点

補助金増額を望む

＝要保護・へき地の修学旅行＝

不参加生徒をなくそう

昭和五十二年度保護・準要保護児童生徒の修学旅行費の概算要求が決った。

中学校は一万九千五百円で、本年度より五千三百円の増額である。これはさいきん五か年間の数字をみてもわかるとおり、年次ごとの増加率のなかでは遥かに高い。すなわち決定額は、四十七年度八千四百円、四十八年度八千九百円、四十九年度一万百円、五十年度一万三千五百円、五十一年度一万四千二百円で、その増加分は四十八年度五百円、四十九年度千二百円、五十年度三千四百円、五十一年度七百円で、五十年度をピークにして五十一年度のごときは四十九年度の増加額を下回わっていた。

従来から修学旅行費は経済事情を直接反映し、主たる経費を占める交通費、宿泊費は高騰をつづけており、微々たる値上げではとうていその費用をまかなえない状態となっている。

本年の春、関東・東海・近畿三地区中学校修学旅行連絡協議会（奥慈磯次会長）が行った修学旅行の実態調査からみても、その金額は予想以上にはねあがっている。それによると生徒一名につき平均額は二万円をこえなかには二万七千円台にたっしている学校もあり、地区や府県および方面は異なっても、だいたい同じ額と推定されよう。

五十二年度の概算要求は前記の通り一万九千五百円であり、この実態調査による金額にはるかにおよばない。もちろん不足額については県や市町村など自治体からの補てんが考慮されるばあいもあるが、調査では全額を公費で支給したのは六六%国の基準だけしか支給されぬ学校が三三%もある結果がでている。

この三三%に対しての処置はPTAなどで補ったのはわずかに七%、残りの九三%は自己負担になっており、さらにこれに基因して父兄負担増に伴う修学旅行への不参加生徒の増加が危惧されるところだ。これでは教育の機会均等の精神は失なわれ学校行事としての地位も危ぶまれよう。

また、四十八年度から実施されたへき地児童生徒にたいする修学旅行費についても同様である。一—三級の高度へき地校が該当するが、今後はへき地全地域にまでその枠を拡大してもらいたい。

幸いにも五十一年度からへき地校に対する増額がみられ、要保護・準要保護の一万四千二百円に対してへき地校は一万六千九百円と大きな飛躍を示し、われわれもこの大英断に対して好感をもって迎えたところであるが、五十二年度の概算要求をみると要保護にくらべ、わずかに三百円しか増えず、その額は一万九千八百円である。

へき地の特質としては当然、交通費の増加があり、要保護との差額三百円ではあまりにも実情にそぐわない。今後の増額を期待するところである。

従来からの経過をみると予算案が決定した段階では、修学旅行費はすでに大幅にふくれあがっているのが実情で、後手、後手のそしりをまぬがれなかった。われわれは現実に即した修学旅行費補助金の増額に全力をつくさねばならぬし、すでに全修協としても永井文相あてに要望書を提出している。

五十二年度の概算要求は、われわれの意に満たぬところではあるが、要求の全額はぜひ通過させてほしい。大蔵省では文教予算の大削減を考えているというわれるが、修学旅行だけは〝受益者負担〟の枠外に置くよう、ここに強く要望する。全修協としても来年度概算要求の満額要求と今後の増額運動を強力に推しすすめるものである。

篠崎　規氏が就任

全修協佐賀県支部長に

篠崎　規氏

菊池武貞氏辞任に伴う全修協の佐賀県支部長に篠崎規（しのざきただし）氏が就任、十月一日付で発令された。

昭和十二年佐賀師範学校卒業後佐賀市内の小学校教諭となり、同十六年四月から朝鮮釜山第一公立国民学校に勤務、同二十年九月引揚げ、二十一年から県内小学校などを歴任、三十一年四月佐賀県学校生活協同組合常務理事、三十五年四月に県教職員組合執行委員（書記次長）となり、三十七年四月から再び佐賀市内の小中学校に勤務し昨年退職、本年四月、県教育公務員弘済会理事長となった。

修学旅行の指導改善については多年にわたる豊富な現場の経験をいかに生かし、また、教職員の厚生運動である研修旅行には独自の方策でどう推進するか今後の活躍が期待される。六十歳。現住所は佐賀市田代一—三—九。

京都、奈良を視察

本年度の現地研修会

関修委

【関東支局】関東地区中学校修学旅行委員会（峯友直会長）の本年度関西方面現地研修会は十二月二日から三日間開催する。修学旅行のコース、見学場所、宿泊地を調査し、同時に現地の旅館、バス会社など受け入れ機関と懇談する。

日程は①東京（九・三六発、ひかり一〇五号）—京都—嵯峨野（念仏寺・祇王寺・二尊院・落柿舎・常寂光寺・天竜寺）—京都泊②笠置—岩船寺—浄瑠璃寺—奈良—山の辺の道（大神神社・金谷石仏—海石榴市跡）—長谷泊③長谷寺—室生寺—名張—名古屋—東京（ひかり一七四号、一七・三二着）

会費は二万六千円（国鉄運賃料金値上げのときは増額）定員四十名。希望者は十月三十日までに各県の修学旅行委員会へ。

なお講師として奈良芸術短大教授木村芳一氏が指導にあたる。

第2回友好訪華きまる

全修協主催で

中華人民共和国の招へいによる全修協の第二回友好訪華はこのほど正式決定した。期間は十一月二十六日から十二月七日までの十二日間で、全国の学校長二十名で編成。同団には顧問として全修協事務局長の小室三夫朗氏が同行する予定。

全修協の地区会議

▽北陸・東海＝十月十五日、津市▽中・四国＝十月十九日、高松市▽九州＝十月二十一日、別府市▽関東＝十月二十九日、東京都▽東北＝十一月十日、福島市。

会議には支部長、協力機関のほか山本理事長らが出席。

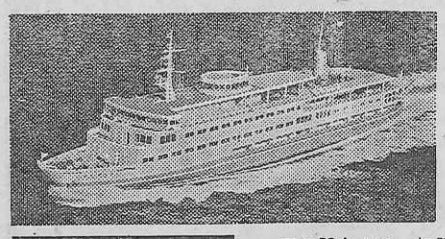
風紋

修学旅行が生徒たちの生活にどんな余韻をのこし、ひいては多感な成長期の人間形成の上に、どのような意味を持つものであろうか。生徒たちの作文の一章一句を通して、それを窓口に、生徒たちの心の中におこった律動に触れてみたい▼「私はやっと文化財ということばの意味がわかったような気がする。この文化財を守って育てることは、私達の今の力でもできると思う。どこだったか忘れたが、ひどい傷といたずら書きがあったことを覚えている。本当になにも分らないばかな人達だと思う。そしてとても悲しいことだと思う。私はこの三日間に多くの貴重なことを学んだ」（千葉中三女）という。この生徒にとって、文化財保護ということばが、具体的な体験として心の中に脈々として波うち、これからの人間成長の上に好ましいひびきを与えたことが推しはかられる▼また「私たちは最近平和を忘れかけているのではなかろうか。世界中が願う平和を、でも私は忘れていない。二度とあの悲惨な姿をこの目で見たくないから、そのためにも私たち一人一人が平和をねがい、平和を忘れないようにしたいものだ」広島へいった徳島の中三の女生徒のことばである。原爆の非人道的な戦禍の前にたたずんだ少女の心に灯った平和への願いは、この子ひとりのものではない▼「私はみんなに友へのおもいやりの心というものを強く教えられた」と、あたたかい友情の芽生えをのぞかせることば、また「修学旅行はもう過ぎていってしまった。もう僕たちには楽しいことなどなに一つもない。あとは受験日だけである」とうけとめている生徒もたくさんいる▼教育課程審議会が、さきごろ審議のまとめを発表した。それによると、改善のねらいとして、人間性豊かな児童生徒の育成をあげ、学校の荒廃を救おうという。大いに賛成である。修学旅行のねがうところもここにあると思い、生徒たちの作文をあらためて読んでみた。

充実した修学旅行

ツーリストをお役立てください
ツーリストでは意義ある行事をさらに充実させるために、事前、または事後学習用として“修学旅行映画”シリーズを製作しております。
●修学旅行映画シリーズ
京都の庭園　富士箱根　日光　大和の国なか
大和の塔　火とみどりの国　瀬戸内海
みちのく　大和の道　大和の石　京都の川
（いずれも文部省選定、16ミリカラー、上映時間25～40分です）
電子計算機がおてつだいする　ひまわり窓口　「登録第20号」
近畿日本ツーリスト

KANSAI LINE
思い出の修学旅行
印象的な、瀬戸内海の船旅



●阪　神—別府航路（毎日3便）
●阪　神—小豆島・高松航路（毎日2便）
●東神戸—日向（宮崎）フェリー（隔日1便）
関西汽船
■お問合せは　大阪市港区弁天6－7－15　☎（06）574－9161
東京都中央区八重洲1－9－9　☎（03）274－4271
ほか関西汽船・関汽交通社各営業所・旅行あっ旋案内所

来年の研修旅行拡大

国内は35コースにも

内容強化した研修行事

五十二年の冬と春および夏の教職員研修旅行企画は九月七日開催の企画委員会、同二十一日の特別委員会で国内三十五コースを決定し、十月十五日に開かれる北陸・東海地区会議を皮切りとして開く各地区会議で検討が加えられて本決りとなり、直ちに募集にはいる。計画によると研修旅行実施二十一年目を迎えるに当ってコースの拡大、内容の充実に重点をはかっているのが注目され、とくに夏季は学校現場の要望にこたえて前後二期にわけて実施するなど配慮が行われている。冬と春の基本コースは次の通り。（地区および県によっては実施しないところもあります）

冬のコース

▽沖縄（本島全周と石垣島。一月中旬、四泊五日。北海道、青森、岩手、秋田、東京、千葉、神奈川だけ実施）①各空港―那覇空港―浦添（ヨードレ王陵）―守礼の門・県立博物館（講演）―霊御殿―金城石畳・紅型工場―壺屋窯場―那覇泊②那覇空港―石垣空港―石垣港―竹富島（自由研修）―石垣港（講師指導で宮良殿内・桃林寺・唐人墓など研修）―石垣泊③石垣空港―那覇空港―中城城跡・中村家の建築―コザ―万座毛―海洋博跡地公園―名護泊④名護―辺土名―辺土岬―平良―塩屋大橋―名護―コザ―那覇泊⑤那覇―糸満（幸地腹門中墓）―ひめゆりの塔―健児の塔―摩文仁丘・れいめいの塔―玉泉洞―那覇空港―各空港。

▽南九州（一月中旬、四泊五日実施は「沖縄」と同じ都県）①東京―（車中泊）②西鹿児島―城山公園―磯庭園（講師の指導で島津氏の事績と薩摩の国土をテーマに尚古集成館・紡績所あと・造船所あとなど見学）―谷山（奄美の里）―指宿泊③指宿―長崎鼻―開聞岳・枚聞神社―池田湖―指宿スカイライン―喜入―鹿児島―桜島（港―赤生原―湯の平展望台―赤水）―垂水―鹿屋―串間―都井岬泊④都井岬―南郷―鵜戸神宮―サボテン公園―青島―堀切峠―宮崎（宮崎神宮・県立博物館・平和台・はにわ園・宮崎サファリパーク）―宮崎泊⑤宮崎―西都原古墳群（資料館で講師解説）―宮崎空港―東京空港。

春のコース

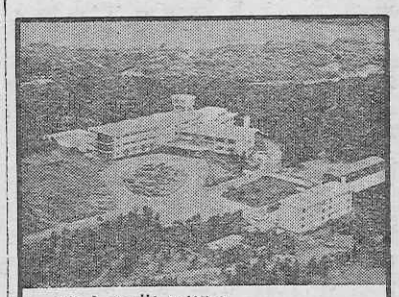
―一般研修―

▽隠岐（三月下旬、三泊四日または二泊三日。関東、北陸、東海近畿だけ）①東京（車中泊）②大阪空港―隠岐空港―西郷―菱浦―後鳥羽上皇遺跡・村上家資料館―金光寺山―明屋海岸―菱浦―別府泊③別府―東国賀めぐり―船引運河―浦郷―別府（黒木御所跡）―西郷泊。（悪天候で船欠航時は別府―宇賀―黒木御所跡―別府―船越―浦郷―国賀―浦郷―別府に変更）③西郷―玉若酢神社（駅鈴・倉印）―後醍醐天皇在所あと―国分寺あと―中村―白島―中村―水若酢神社―郷土館―西郷―隠岐空港―大阪空港―東京空港。

▽四国路（三月下旬、四泊五日北海道、東北、関東、北陸、東海近畿地区だけ）①東京―西明石―明石―岩屋―洲本（洲本城あと・三熊公園）―福良（人形浄瑠璃見学）―鳴門（眉山・十郎兵衛屋敷・阿波おどり鑑賞）―徳島 泊②徳島―阿波（土柱）―高松（高松城・栗林公園・屋島・五台山）―琴平（金刀比羅宮）泊③琴平―川之江―新居浜―西条―石槌山―西条―道後温泉泊④道後―講師の指導で石手寺・松山城・子規堂見学―御三戸―面河渓―御三戸―高知泊⑤高知―桂浜・高知城―竜河洞―高知空港―大阪空港―東京空港。

▽南九州（三月下旬、四泊五日実施地区は「四国路」と同じ）①東京―新大阪―大阪南港―フェリーで船中泊②日向港―西都原古墳群（資料館で講師の解説）―宮崎（宮崎神宮・県立博物館）―堀切峠―青島―鵜戸神宮―都井岬泊③都井岬―串間―志布志―鹿屋―垂水―桜島（赤水・湯の平展望台・赤生原）―鹿児島―喜入―指宿スカイライン―池田湖―枚聞神社・開聞丘―長崎鼻―指宿泊④指宿―喜入―谷山（奄美の里）―鹿児島―城山公園・磯庭園（講師の指導で尚古集成館・紡績所あと造船所あと見学）―国分（国分寺あと）―霧島神宮―霧島温泉―霧島神宮―えびの高原（徒歩で三㌔、八十分池めぐり）―第二展望台―小林―宮崎空港―大阪・東京空港。

▼春の特別研修と夏季は次号に。



雄大な声の湖と
美しい湖尻高原
修学旅行専用旅館
箱根高原ホテル
電話　0460（4）8595（代表）

渓谷美を満喫して

＝大台が原・大杉谷コース＝

参加者のたよりから

本年度夏季研修旅行のうち「尾瀬の探勝」につぐ山岳コースとして実施された「大台が原・大杉谷コース」は予期以上の好評をおさめた。

大地がえぐられ、むき出しになった木の根の道、起伏の多い渓谷ぞいの沢、暗い原生林の樹間を縫いながら、全参加者はついに無事故で踏破した。この陰には三重県高体連山岳部の先生がたの絶大な協力があり、全員は挙って感謝の言葉をささげたほどだった。珍しい樹木、一面にコケむす大地、そしていくつかの名瀑布―わが国有数の渓谷地帯の印象は強烈なものであった。以下は本部に寄せられた参加者からの感激をつづった手紙からの抜すいである。

○…○

★…すばらしい秘境を見学させていただきましたこと、今になって次から次へと頭の中をかすめては楽しませてくれます。個人では絶対に行けないところと思います。シン淵から背負ってきました流木も少しずつツヤが出てきました。また来年をたのしみにしています。（東京・野口真理子さん）

★…今にもバテそうになりながら歩いた山だったのに、今になってはなつかしさで一ぱいです。あのときのメンバーでもう一度山に行きたいなーと考えているきょうこのごろです。来年も山行きの新企画をたてて下さい。そのために力をたくわえようと、体力づくりにはげんでおります。（福島・岩佐啓子さん）

★…旅行の節はたいへんお世話さまになりました。私にはきつい旅行でしたが、いま振り返ってみると「やった」という満足感でいっぱいです。吊橋恐怖症だった私ですが、すっかり自信がつきました。夏のよい思い出ができたと喜んでいます。また来年の夏もたのしみにしています。ありがとうございました。（東京・神林静枝さん）

★…あんなにけわしいところとは想像もせずに参加し、指導に当られた先生にはたいへんご迷惑をおかけいたし、申しわけなく思っています。二日目はどうにか自分の力で歩くことができました、ほんとうによい体験をいたしました。すばらしい景観とともに皆さまからお受けしたご親切の数々は終生忘れることはできません。（東京・岩淵淑子さん）

★…研修旅行の折にはたいへんお世話さまでございました。おかげで楽しい思いをしました。もう一度でかけてみたいと思っています。（神奈川・田辺とよさん）

★…奈良県と三重県にはたびたびまいりましたが、大台が原方面はまったく未知のところでしたし山登りも絶えて久しいものでしたので、六十七歳の体力テストの気持ちも含めて参加させていただきました。少年の日の憧れも似た感動と一沐の不安とを抱いて東京駅に集合、それからのスケジュールはみなさまご存知の通りでしたが、曲りなりにもパスさせていただきましてありがとうございました。このコースは十分な認識と準備と心構えがあれば、普通体力の中学生以上には好適のコースだと判断しました。とくに三重県高体連山岳部諸先生のご指導には敬服いたしました。山に対する正しい開眼手術をしていただくと同時に人間的なあたたかな味のあるご動作に深い感動を覚えました。あの三日間が楽しく過せた思い出は生涯忘れ得ないものでしょう。やがて第二学期も始まります。このすばらしい体験の土産をもって高校の若者たちにあう日が待ち遠しいようです。（新潟・鷲頭佐七氏）

★…すきたあの日をなつかしく思い出しています。足もとばかりに気をとられて、また、皆さまに遅れまいと全力を傾けて登り降りした二日間でしたが、今となっては楽しい思い出となっています。けわしい道に自信がついた感じで来年もどこかへと、今から楽しみにしております。（石川・青木きくゑさん）

★…大台が原・大杉谷を歩いたのが、ついきのうのことのように想い出されます。あの美しく澄んだ水の色はいつまでも忘れません。すばらしい自然に接することができて、とても幸わせに思っております。ますます山が好きになってしまいました。ほんとうに楽しい山の旅でした。ちょっぴりつらい時もありましたけれどー。いろんな方がたとお会いでき、この研修旅行に参加してよかったと心から思っています。（石川・松住秀代さん）

★…短い夏でした。スズムシの鳴く声を聞くと喜かった日も忘れこれから食いしんぼうな私をよろこばせる味覚の秋がきます。研修旅行ではほんとうにありがとうございました。すばらしい景色でしたので二日間の疲れも〝なんのその〟でした。そして友人ができたことも。団体旅行はあまり好きではありませんが、こんどのツアーは団体だったからこそ二日間歩けたような気がします。年輩のかたも多かったのに、みなさん、よくがんばったと思います。私も勇気づけられて、これからもどんどん山へ登らなくては、と思いました。帰ってから寝実、登山スボン靴下など揃えました。毎年一回ほど山へ登りますが、だんだん山が好きになるばかりです。まだみんなについていける体力がありますので連れていっていただきますがいつまで続くかなあと思います。（岐阜・本荘幸子さん）

大杉谷を行く研修旅行団

★…研修旅行の折は何かとお世話さまになり、ありがとうございました。行動中は皆さまにご迷惑をかけてはと、必死のおもいで歩き、景色などほとんど見なかったような気がしておりましたが、北海道へ帰って日が経つにつれ、行程の一つ一つが鮮やかによみがえり、再び訪れたい気持ちでいっぱいです。ほんとうによい旅行をさせていただきました。来年もぜひ企画していただきたいと思います。かならず参加して、あのすばらしい大自然を再び満喫したいと思っております。（北海道・東雲久美子さん）

★…研修旅行では本当にお世話さまになりました。おかげさまであんなに堪能したことはありませんでした。これもみな、ご指導くださった先生がたのおかげと感謝いたしております。（東京・稲田恵知子さん）

★…大台が原、大杉谷の研修旅行は一生涯忘れ得ぬ感激的な想い出ぶかい旅でした。三重県高体連山岳部の先生がたにもよろしくお伝え下さい。再度、良きプランを期待しています。（青森・熊谷秀雄氏）

★…あの大台・大杉谷の研修旅行を終え、早くも二か月あまり経ち、今でもある秘境の景観が思い出されてなりません。またこんな計画があったら参加したいものと今から期待しております。（東京・岩淵田之氏）

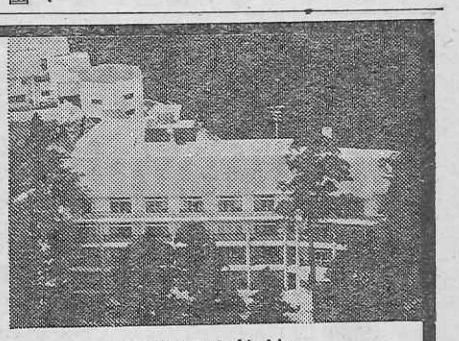
七月末の大台ガ原・大杉谷研修旅行では大したこともできず、参加されたみなさまにかえってご迷惑をおかけしたのではないかと案じております。二、三名の方からお礼状をいただいているのですが、名前とお顔が一致せず困っています。いずれも大杉谷の渓谷美をたたえる言葉のみです。われわれとしても谷の美しさを見て印象深く帰られたことにつき、ほんとうによかったと思います。（指導員・三重県立四日市農芸高校教諭・県高体連山岳部・北村守彦氏）

おことわり　岡野英雄氏「さいはてを行く」と井上西三氏の「遠流の人を想う」は休みました。

修学旅行のメッカ本郷へ
経験で奉仕する
近畿日本ツーリスト協定旅館連盟
東京支部本郷地区会員
安心して泊れる旅館
東京のお泊りは
文教の地〝本郷〟で
環境・交通は
修学旅行に最適です

武蔵野館	文京館	ふたき旅館		
平安荘	真成館	追分旅館		
朝陽館本家	富士館	長栄旅館		
本郷館（本館・別館）	朝明館	春養館		
日本学生会館	機山館	（順不同）		
旅館かつら	旅館大正園			

修学旅行のお宿に
全館を開放
■延暦寺会館本館
■別館比叡
■延暦寺会館第1別館
■延暦寺会館第2別館
〈収容600名様〉
☆素晴らしい琵琶湖の夜景
☆根本中堂で早朝の座禅
☆スッキリした気分で次のコースへ
☆頭のよくなる精進料理
☆夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕



〈国際観光旅館〉
比叡山　延暦寺会館
TEL　0775－78－0047・0554
TELEX　5464－917